

定例市長記者会見録

日 時： 8 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分～ 2 時

場 所： 本庁舎 6 階特別会議室

出席者： 一 宮 市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、読売新聞

(市長)

「令和 2 年度 9 月補正予算 (案) に計上された主な事業」で説明させていただきます。国が地方公共団体を応援するために、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」という枠を設けています。一宮市は 1 次配布で 8 億円、2 次配布で 24 億円、全体で 32 億円余りをいただいているので、これを使い、他の自治体で先行して実施している内容もありますが、財政状況の厳しい一宮市も、この臨時交付金を使ってなんとか追いついて、コロナ対策を進めていきたいと思っています。

1 ページ目の 1 は、町内会等に対する 3 密対策支援です。市内には 800 を超える町内会、地域づくり協議会は、ほぼ中学校区単位で 22 ありますので、こうした所での会議や行事を支援するための非接触型温度計や消毒液の配布に、1,900 万円ほど予算を計上しています。

2 は、路線バスを利用する高齢者に対する支援です。名鉄バスさんが、70 歳以上の方に「ゴールドパス」として 1 か月 5,000 円で乗り放題、65 歳以上の方に「シルバーパス」として 1 か月 6,000 円で乗り放題というものを出しているんですけど、その 1 か月間乗り放題というパスの 500 円割引について、今、名鉄バスさんと話を進めています。お客さんが減って、民間の公共交通が維持できなくなるということがないように、地域の足をしっかり確保していきたいと考えています。

3 が、自転車利用者に対する 3 密対策への支援です。ラッシュアワーで電車などが混むのを避けるために、自転車で通勤・通学を始める方がいらっしゃいますが、市内の状況について警察から話を聞くと、自転車事故が多いため、安全に乗っていただきたいということで、ヘルメットの購入費用を最大 3,000 円補助させていただきます。

4 が、災害備蓄物資充実事業ということで、コロナ禍により、避難所では、より避難者の方の間隔をとらなければならないというような状況になっています。パーテーションとかテントといったものを買ひ込みますので、1 億円ほど予算を計上しています。

5 は、宅配ボックスの設置に対する補助です。コロナ禍の状況で、ネットショッピングで注文して宅配で受け取ることが増えています。その場合の対面による感染リスクを低減する目的、合わせて、再配達により何度も大きな車が行き来して渋滞を起こす点もよくないですし、さらに、環境への負荷、エコロジーの観点からもよくない。ひいては、夜遅くまで何度も再配達してもらうことを減らせれば働き方改革にもつながりますので、再配達を減らしたいという考えがあります。宅配ボックスの設置の補助と合わせて、宅配ボックスという

と、何万円もする、場合によっては集合住宅では何十万円もするようではすけれども、簡単な置き配バックですね。簡単な鍵がついている「オキッパ」という名前の市販品があるようですが、約 4,000 円するものをモニターの方に配布して使ってもらおうということで、2,300 万円の予算を計上しています。

6 が、新生児への 5 万円の給付ということで、他の自治体でも実施していますけれども、一宮市も 4 月 27 日の基準日から後に生まれた新生児に対し、全く支援がないのはどうなのかという話がありましたので、同じ学年ということで線を引かせてもらい、来年 4 月 1 日までの間に生まれた新生児に対して 5 万円の給付金を支給させていただきたいということで、議会に提案いたします。

7 は、住居確保事業給付金給付事業ということで、家賃の支払いが大変だという相談が増えています。国から 4 分の 3 の支援をいただけるということもありますが、相談業務に円滑に対応するため、一宮市でも体制を整え、非常勤職員の雇用を増やしたり、ということを実施します。

8 が、高齢者に対する健康支援及び生活支援です。1 つは、要支援認定者についてです。介護保険を使う「要介護」の手前の「要支援」の方が、市内に 6,200 人ほどいらっしゃいます。進行すると「要介護」になるので、できればその手前で止めたいのですが、コロナが怖いということで外出を自粛されている方が多いので、2,000 円ほどで、バランスボールや健康グッズをいくつか用意し、その中から選んでいただいて、好きなものを配布することが、1 つの柱です。もう 1 つの柱が、後期高齢者の 75 歳以上の方が、コロナ禍で大変な日々をお過ごしと拝察いたします。新しい生活様式のキャッシュレスについて、サンプリング調査を行ったんですけれども、75 歳以上の 8 割くらいの方は電子マネーを使ったことがないということで、使っていただけるよう、電子マネー 3,000 円分を配布する事業です。合計 2 億 3,300 万円ほどです。

9、10 が、放課後児童クラブや保育園での感染症拡大防止策ということで、国から補助金をもらうことになっております。

11 が、成人式のライブ配信事業です。これまで 1,600 人ほど入る市民会館がびっしり埋まるので、2 部制で実施していましたが、収容人数的にもう無理だということで、来年の成人式は市民会館と市内 19 の中学校の会場で分散開催としますが、全体をつないで一体感をもってもらいたいということで、ライブ配信に必要な費用を計上させていただいております。

12 が、指定管理施設の事業継続に対する支援ということで、多くの公共施設、スポーツ・文化関係、ホールなどを、民間事業者指定管理していただいております。ただ、コロナ禍で非常に来客数が少ない、またはまったくいない中で、コストカットはもちろん、人員削減などもしてもらっていますが、それだけでは安心・安全に施設を利用できず、市民サービスの低下につながりかねませんので、一定の基準を設け、支援金を事業者へ支給させていただくものです。

13 が、市内事業者の皆様への 3 密対策リフォーム等補助金です。6 月補正でも実施しましたが、今の状況も見て、引き続き市内事業者、接骨院だったりとか学習塾だったりいろいろな所に使っていただくということで、申請期間、対象期間を延長し、事業費を増額するものです。

14 は、地場産業の繊維産業を応援しようということで、尾州オンライン展示会開催事業です。ウェブサイトの展示会サイトということで、1 度、プラットフォーム的に作り上げれば、その後はいろいろと商談ができるようになるということなので、こうした取り組みを行政としても支援していこうと、予算を計上しています。

15、16 は、それぞれ商工会議所さんの方で、るぶと「一宮版 GoTo トラベル」と名乗っておりますが、コロナを防ぎながら、新しい生活様式に沿った形で、この地域の楽しみ方というものを新しく考えてもらうということで、市から負担金を支出するものです。

17 は、中小企業への金融支援ということで、中小企業を応援するための利子補給金などの申請が増えておりますが、もっと必要だろうということで、1 億 2,400 万円を新たに計上させていただきます。

18 が、尾張一宮駅前ビルでのテレワーク支援です。i ビル 3 階シビックテラスに、今もちょっとしたテーブルがあるんですけども、皆さんがテレワークでパソコンを使おうとすると、当然、機密情報なども出てきますので、横から見られないように囲いをつくる形で、テーブルといすを配備し、Wi-Fi はすでに市のネットワーク回線がありますので、市民の皆様が自宅と職場とのどこか中間でということをお考えの際に、テレワークがしやすいスポットを用意させていただきます。

19 は、消防職員・消防団員に対する感染症対策ということで、救急の業務などの時は、大変緊張を強いられますので、そうした職員、団員への感染症対策の予算です。

20 が、GIGA スクール構想整備事業です。金額が飛び抜けて大きいんですが、内閣府や文部科学省へ職員を派遣しておりまして、いろいろ情報収集しながら考えました。企業のテレワークと合わせて、この方向に多くが流れていて、どうしても割高かなと思わないでもないですが、国から大盤振る舞いしてもらえる今のタイミングで走るしかないということで、今回、11 億円を GIGA スクール構想に計上させていただいております。

21 が、修学旅行キャンセル料等に対する補助ということで、さっそく今週末から第 1 陣が出発しますけれども、突然の延期や中止、また日程変更などあるかと思えます。その場合に、業者に払うキャンセル料につきまして、保護者の皆さんには負担していただかなくてもいいよう、市で負担するため、この予算を計上しました。

次に、中核市関連の保健所の来年 4 月開始に向けた準備ということで、通信設備ですが、今でも PCR 検査等の電話が繋がりにくいという話がありますので、そうしたことが来年 4 月にはないよう、しっかり整備していこうということで、追加予算を計上しております。

次に、「タブレット型 PC の活用方法について」という資料をお配りしております。その中

の、「不登校児童生徒への学習支援と人間関係づくり」と「外国人（日本語指導が必要な児童生徒への支援）」につきましては、繰り返し教育委員会にお願いし、検討を進めてもらっています。この2つの項目で毎日使ってもらえたら、いろいろな使い方が広がっていくのではと期待しています。

最後に、単行議案第65号、一宮市働く婦人の家の設置及び管理に関する条例の廃止についてです。働く婦人の家は、平成元年12月の条例でできているんですが、その頃は、「働く婦人」が、ある意味マイノリティー的な存在だったんだと思うのですが、今や増えまして、取り巻く環境も、カルチャースクールもあればインターネットでも学べるという状況ですので、廃止させていただくものです。

議案第66号、一宮市企業の立地の促進に関する条例の一部改正についてということで、市外から来る企業に対し、雇用促進奨励金などの手厚い措置があります。しかし、ここ数年の状況を見ておきますと、そこまでやらなくてもよいのではないかと、コロナの状況で景気も変わるので、あまり強気ではいけないのかもしれませんが、おかげ様で、高速道路などインフラ整備が進めば進むほど、いろいろな問い合わせも増えていきますので、企業立地の手当を少し見直し、手厚くなくするというものです。

私からの説明は、以上です。よろしくお願いします。

質疑応答

※冒頭、記者より、市の独自色の強い事業について説明を求められたため、該当する事業についての質疑応答を記載しています。

■宅配ボックスの設置に対する補助

（市長）宅配ボックスの設置に対する補助ですが、岩倉市は、宅配ボックスの補助はしていますが、集合住宅への補助はしておらず、一戸建てだけが対象です。一宮市は、集合住宅も対象とする予定で、置き配バックをモニターに配るのも、たぶん県内初です。

■成人式ライブ配信事業

（記者）横浜市がオンライン化をやろうとして、保護者からの反発でライブ配信は中止、ということが話題になっていました。

（市長）横浜市のオンライン化は、一切どこにも集まらずに、自宅でもどこでもいいという形式のようでした。一宮市の案は、OB・OGが各中学校、自主的に19校に集まりディスプレイで繋ぎ一体感を持ってもらおうというやり方ですから、皆さんセレモニーに出た感覚は持ってもらえると思います。

（記者）市長は、挨拶するのですか？

（市長）今のところ、私やお越しいただいた来賓が市民会館での挨拶を考えています。

(記者) 元々は、市民会館と 19 会場で行っていたのですか？

(市長) 午前中に市民会館に全員集まってもらい、午後から皆さん、それぞれ 19 の出身校に戻るという流れでした。

(記者) 今回は、皆さん 19 校に集まってオンラインで繋がって、市長挨拶などされるのですね。

(市長) 私の挨拶だけではなく、各中学校の代表者にも来てもらい、何か場を作ろうと思います。

(記者) 成人式は、いつ行うのですか。

(市長) 一宮市は、成人の日ではなく、遠くに行っている人も帰ってきやすいように、3 連休の中日に行いますので 1 月 10 日の日曜日です。

■一宮版 GoTo トラベル事業

(記者) 岐阜市などは、地元での旅行を促していますが、そういうことですね。

(市長) 商工会議所の皆さんが、地元の皆さんに、コロナ禍の状況でもこういったところに気をつければ、楽しめるといった、呼びかけをしてもらえるような、ミニトラベルを開発してもらえたらよいと思います。

■尾張一宮駅ビルでのテレワーク支援

(市長) 尾張一宮駅ビルでのテレワークスポットについても、どこまで使ってもらえるかわかりませんが、少ない金額でスモールスタートしたいと考えています。

(記者) これは、i ビルのどこに作るのですか？

(市長) 今の第一候補は、エスカレーターで 3 階に上がった右手の喫茶店前のスペースと 5 階に上がるエスカレーターの下です。

(記者) パーテーションで個室のようにするのですか？

(市長) 机を並べて、パーテーションで仕切る感じです。評判が良ければ、他への設置も考えたいと思います。

(記者) 席数は何席を予定していて、開始時期はいつですか？

(市長) 24 席を予定しています。議会の承認を得てからですが、承認いただければ年内に開始したいと考えています。

■修学旅行キャンセル料等に対する補助

(記者) 修学旅行についてですが、岐阜市は旅行先を県内にしましょうとか、宿泊を伴わないようにしましょうとか発表していますが、一宮市は制限するのですか？

(市長) 私は、知見や専門知識を持ち合わせていませんので、教育委員会が中心となって、専門家、医者や保健所からアドバイスをもらいながらやっています。どこの学校も東京は外したと言っています。宿泊については、首都圏だと千葉県や神奈川県、関

西の神戸市に変えた学校もあると聞いてますが、県外へ出てはいけないということはありません。

■G I G Aスクール構想整備事業

(記者) タブレット端末の準備にはまだ時間がかかるのですか？

(市長) 5月に専決処分後に発注した、1,000台については年内に手配できます。その後の、一人一台で予定している約28,000台については、全国一斉に購入していますので、年を越します。

(担当) 年度内の購入を目指しています。

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

(記者) 国からの一宮市に対する交付金の枠は、どれくらいあるのですか？

(市長) 32億円ほどです。現在30億円の予算ですので、まだ枠に余裕はあります。内閣府に対する要求は、年内は出来ます。今回、予定した項目の中で実際に使われずに余ってくるものを他の費目に振り替えながら、新たなプロジェクトを打ち出して、再度、内閣府に申請していきたいと思っています。